



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区安管協会の活動紹介（４地区）

「交通死亡事故現場診断」を実施！（令和元年 10 月中）

御殿場地区、三島地区、湖西地区、浜松中央地区安全運転管理協会は、地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、この 10 月中に管轄警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、これからの交通事故防止対策等を協議しました。

【御殿場地区】

10月11日（金）、御殿場警察署、御殿場市役所、交通安全協会、地元自治会等の関係団体とともに、同地区安全運転管理協会から役員及び今年度推進事業所安全運転管理者など5人が参加、合計21人により

9月27日（金）の深夜、御殿場市永塚地先の市道で発生した交通死亡事故（普通乗用車と対向走行の自転車との衝突事故、自転車の40歳男性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は直線道路で、普通乗用車が道路障害物を避けようとハンドルを切った際に自転車と衝突しており、現場診断及び協議の結果

○ 速度超過を防止する注意看板の設置や道路に凹凸塗装を施して、物理的に走行速度を減速させる措置を検討

○ 付近住民や運転者に対する交通安全広報・啓発活動を推進などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【事故の発生現場を確認】



【参加者により再発防止対策を協議】

【三島地区】

10月16日(水)、三島警察署、三島市役所、道路管理者、交通安全協会等の関係団体とともに、同地区安全運転管理協会から役員、事務局長などが参加し、合計10人により

10月4日(金)早朝、三島市梅名地先の国道上で発生した交通死亡事故(中型貨物車と原付バイクが出会い頭に衝突、原付バイクの59歳男性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場は信号機のない交差点で、事故当時、大雨による荒天のため視界が悪い状況にあり、現場診断及び協議の結果

- 一時停止標識を自発光式にするなど標識をより分かりやすくする
- ドライバーや地元住民等に対する注意喚起の安全広報を推進する

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【事故発生現場を確認・事故防止対策を協議】

【湖西地区】

10月18日(金)、湖西警察署、湖西市役所、交通安全協会、交通安全推進員、自治会等の関係団体とともに、同地区安全運転管理協会から役員、事務局長などが参加し、合計24人により

10月13日(日)、湖西市新居町新居地先の河川堤防で発生した交通死亡事故（浜名川支川堤防を走行中の自転車が川に転落した単独事故、89歳男性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は河川堤防の直線道路で、事故当時、堤防道路を逸脱して川に転落した要因は不明であるが、現場診断及び協議の結果

○ 路面の凹凸にハンドルを取られた可能性があるため路面整備を検討

○ 自転車安全帯や巻き込み線の道路標示、走行注意の看板設置を検討

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【事故発生現場を確認】

【再発防止対策を協議】



【浜松中央地区】

10月25日(金)、浜松中央警察署、浜松市役所、交通安全協会、地域安全活動推進員、地元自治会等の関係団体とともに、同地区安全運転管理協会から役員及び今年度推進事業所安全運転管理者など10人が参加、合計40人により

10月15日(火)夜間、浜松市中区竜禅寺町地先市道で発生した交通死亡事故(右折普通乗用車と対向走行のバイクとの衝突事故、バイクの16歳男性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、広い直線道路に路地3本の変形5差路で、普通乗用車が路地へ右折しようとした際に自動二輪バイクと衝突しており、現場診断及び協議の結果

○ 右折時の安全確認の表示や死亡事故発生の注意看板等の設置

○ 付近住民や運転者に対する交通安全広報・啓発活動を推進

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【警察官から事故状況を説明】

【参加者が事故発生現場を確認】



【雨の中、再発防止対策を協議】